

…………… 看護部のページ ……………

中部ろうさい病院認定看護師の紹介

中部ろうさい病院において、認定看護師が活動していることはご存知でしょうか？

日本看護協会のホームページによると、認定看護師とは、「特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践ができ、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上をはかることを目的」に、専門的教育・研修を受け、資格認定された看護師のことです。

当院においても、9名の認定看護師が活動をしており、各自が専門的な知識や技術をもって患者さん、ご家族のケアを行っております。それぞれが得意としていることがあります。各自の紹介をぜひ、ご覧ください。

緩和ケア認定看護師

渡邊 尚美

『緩和ケア』をご存知ですか？『緩和ケア』は、がんと診断されたときから、がんに伴うさまざまな身体や気持ちの辛さに向き合い、自分らしく過ごせるようにお手伝いさせていただくことです。当院では、緩和ケアチームが活動をしており、患者さんやご家族が心配されていることを伺い、主治医の先生や看護師と共に、よりよく過ごせるためのケアを一緒に考えています。ぜひ、「緩和ケアチームに相談したい」とお声をかけてください。

がん化学療法看護認定看護師

後藤 真澄

抗がん剤によるがん治療を、安全に、安心して、できるだけ楽に受けて頂けるようにお手伝いしています。治療を始める不安や、副作用の予防や対処方法など、お気軽にご相談下さい。外来化学療法室では、リラックスできるスペースと様々な資料をご用意しています。どなたでもご利用頂けますので、ぜひお立ち寄りください。

集中ケア認定看護師

内山 泉

重症患者さんを対象に集中治療室において、きめ細やかな専門的な看護を提供しています。また、集中治療室に入られる患者さんのご家族の不安が少しでも和らげるようにお手伝いをさせて頂いています。

普段は集中治療室にいますが、病棟で生命維持装置をつけている患者さんのもとへ行きスタッフと共にケアをおこないます。

医師、薬剤師、理学療法士、臨床工学技士と協力して、一日も早い回復を目指し患者さんと共にがんばっています。

感染管理認定看護師

小林 明美

病院には、はしかやインフルエンザなど他者にも感染する病気を罹って受診する方や、手術後や治療中で抵抗力が落ちて感染しやすい方が訪れます。当院は、患者さんや職員が院内感染に「かからない！うつさない！」を目標に感染対策に取り組んでいます。

誰でも使用できるように玄関や病室内に手指消毒剤を設置しています。ぜひ、ご利用ください。また、ご自宅でお困りのことがありましたらご相談ください。

皮膚・排泄ケア認定看護師

櫻井 由妃子

なかなか治らない傷や床ずれ、人工肛門・人工膀胱のケア、失禁ケアについてお困りではありませんか？

皮膚・排泄ケア認定看護師はそんな患者さんに対し、ケアや日常生活の相談にのり、日常生活が快適に送れるよう支援しています。

また糖尿病センターと協力し、糖尿病の方の足かきよう予防を目的とした「フットケア相談室」を行っています。糖尿病の方で足のケアにお困りの方はご相談下さい。

救急看護認定看護師

酒井 麻希子

救急外来には、不慮の事故による外傷、脳卒中や心筋梗塞などの突発的な発症や慢性疾患の急性増悪、各種中毒など、多種多様な疾病・外傷を有した患者さんとそのご家族が多数来院されます。こうした救急場面で確実な救命技術を実践し、危機状況にある患者さんやご家族の方への精神面の援助も行うことができるよう、また災害時に災害拠点病院としての役割が果たせるよう活動しています。

認知症看護認定看護師

滝沢 なぎさ

認知症看護認定看護師の目標として、認知症の方・ご家族の方が、安心して生活できる環境作りを目指しています。認知症の発症から終末期までの看護、介護家族のサポートを行います。認知症になると、今まで一人でできていたことが少しずつできなくなっていきます。できることを維持し、できないところを、補うようにしています。認知症の方の言動には必ず理由があるため、その方の代弁者となり、理由と原因を探していきます。

手術看護認定看護師

米村 雅美

こんにちは。手術看護認定看護師の米村です。手術室という特殊な場所で看護に当たることを専門に行っています。また手術の前や後にも関わらせていただいています。ところで皆さんは「手術室って怖い」というイメージはありませんか？確かに「手術」と聞くだけで、気が滅入ってきますよね。だからこそ、手術室には私たち看護師がいます。患者さんのそばに寄り添い、少しでも安心して手術が受けられるように看護に当たっています。手術について何か不明な点、心配な点がありましたら、いつでもご相談下さい。

摂食・嚥下障害看護認定看護師

廣瀬 みゆき

摂食・嚥下障害があると、食べ物をうまくのみこめなかったり水分でおせたりします。

その結果、摂取量が低下し、脱水をおこしたり栄養状態が悪くなったりします。

そのような症状のある方の、飲み込みの機能を評価し、安全においしく食べる方法を考え、実際に食べる場面でもお手伝いさせていただいております。